

認知症作業療法 活動計画 (概要)

山口県作業療法士会では、地域包括ケア推進部の中に認知症初期集中支援委員会を置き、現在8名の委員が活動しています。R2年度は、①認知症アップデート研修、②認知症関連研修、③事例検討会の実施を計画しています。認知症アップデート研修の受講状況を加味し、臨床実践力の向上に向けた認知症ステップアップ研修がR3年度に実施できるよう、他士会の取り組みを参考にしながら、カリキュラムの準備を行っています。また、認知症にやさしい図書館プロジェクトとして、周南市立図書館とのコラボ事業を進めています。

R1年度下半期の活動報告

① RUN伴2019山口への参加

2019年10月26日(土)・27日(日)に、県内10市2町で実施されたRUN伴に、各地の実行委員やランナーとして会員が参加しました。

② 第31回山口県作業療法学会 分科会企画

2019年11月17日(日)に開催された学会分科会企画として「認知症Otcafeへようこそ～見てみよう、いろいろな取り組み～」を開催しました。県内でRUN伴・認知症カフェ・認知症キャラバンメイト活動に取り組む会員の実践発表や、関連書籍の展示、カフェタイムでの交流を行いました。

③ 第20回山口県介護保険研究大会での展示

行政・介護支援専門員・サービス事業者が参加する会にて、山口県士会の活動報告の展示コーナーを設け、PRを行いました。

④ やまぐち作業療法フェスタへの開催協力

事業部主催の一般公開講座 講演「認知症になっても当たり前で過ごしたい」講師：藤田和子氏(日本認知症本人WG代表理事)の運営協力を行いました。一般の方からも74名の参加をいただき、関心の高さを痛感しました。



認知症の人と家族の会との連携事業

県受託事業である若年性認知症カフェ カフェふしのへの参加協力を行ってきました。今年度からは、会員2名が認知症の人と家族の会山口県支部世話人となり、県外支部との交流事業やつどいの運営協力に参加していく予定です。R3年度には、山口県での全国研修会が予定されており、士会としても協力・支援ができればと考えています。

COVID-19 (新型コロナウイルス) の影響・対応など

COVID-19の感染防止の観点より、今年度の活動計画は一旦凍結となっていますが、下半期での実施形態・方法について計画の修正を行う予定です。オンラインでの実施等に向けて、準備していきたいと考えています。

やまぐち 作業療法 フェスタ
 山口県教育会館 2020年2月9日(日)
 一般公開講座 入場無料 13:00~14:30
 認知症になっても当たり前で過ごしたい

講師：一般社団法人 日本認知症本人WGのグループ
 代表理事 藤田 和子 先生

講演題目：若年性認知症
 高齢者として生きていたが、若年性認知症でアルハイマー病と診断された。「認知症になっても当たり前で過ごしたい」という思いをもち、人生を振り返り、今を大切に生きていく。今年も活動の輪を広げていく。全国各地で「認知症と向き合える希望」を伝える。その思いを込めて、認知症本人と、仲間をつくる。社会に夢願していくことの楽しさを伝えていきたい。

「生のひとらしい」をお手紙に
 大切なこと、思い出、あこがれ、
 物語、希望などをつづけて。この手紙は認知症の仲間へ送ります。
 「認知症になっても当たり前で過ごしたい」という思いをもち、人生を振り返り、今を大切に生きていく。今年も活動の輪を広げていく。全国各地で「認知症と向き合える希望」を伝える。その思いを込めて、認知症本人と、仲間をつくる。社会に夢願していくことの楽しさを伝えていきたい。

山口県教育会館 山口県山口市大町2-18 展示・観覧 12:00~16:00

- 体験！脳の健康チェック
- 何でも相談コーナー
- 認知症支援実践能力の取り組み

【イベントに関するお問い合わせ】 Tel.083-920-0171 一般社団法人 山口県作業療法士会
 代表理事 藤田 和子 先生 山口県作業療法士会 認知症本人WG 認知症本人WG 山口県作業療法士会 認知症本人WG

今後の展開

- ① 認知症ステップアップ研修カリキュラム構築と実施
- ② 県・市町との連携に向けた実態把握や意向調査の実施。それを踏まえた人材育成と①をリンクさせた展開

